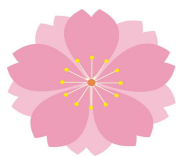


平成24年度 よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん! プログラム 15



鶴来信用金庫が取り組む「企業の地域貢献を考える」

(石川県ボランティア出前講座・公開講座)

3月8日(金) 17時30分～19時

辰口健康福祉センターにおいて、鶴来信用金庫の職員研修の一環として開催しました。若手職員のみならず幹部職員の方も多数参加され、関心を持たれた市民の方々と合わせ50人の参加者でした。

月	火	水	木	金	土	日
				3/1	3/2	3/3
3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10

内 容

地域に根差した貢献活動を盛んに進めている「鶴来信用金庫」の若手職員研修の一環として開催した研修は、金城大学社会福祉学部准教授である 内 慶瑞氏 を講師に迎え、ボランティア活動の歴史やその変遷、そしてボランティアの基本的な理念についての認識を深めることができました。

また、市民や地域の企業の方々への啓発の意味合いからも、この講座をだれでも参加できる公開講座として、石川県社会福祉協議会「ボランティア出前講座」、能美市社会福祉協議会「企業ボランティアセミナー」ともタイアップして行いました。

通称「つるしん」が日頃の地域貢献活動として行っている音楽バンド「クレインズ」の訪問活動や、東日本復興支援ボランティア活動の実績を踏まえ、その活動の重要性と、意義の大きさを確認しました。

まとめ

- ◆「徳は得なり」情けは人のためならず・・・ボランティア活動をした「徳」は後で自身に返ってくる。
- ◆ボランティアはプライスレス・・・物や金では得られない損得感抜き「こころの報酬」が得られる。
- ◆優しさのお裾分けをして、他者との共感が生まれる・・・心にゆとりと相手を思いやる気持ちを持つ。

最後に、鶴来信用金庫理事長から「地域貢献は企業の責任として、各人が意志を高く、誇りを持って一緒に頑張ろう」との力強い激励があり、今後のボランティア活動に対する意欲を高め合いました。

参加者の感想

- 今日の講座を通して、改めてボランティアの大切さが分かりました。これからも積極的にボランティアをする人が増えて、「助け合う」ことが当たり前になり、他人を思いやれる時代になっていくといいなと思いました。
- 「こころの報酬」については、東北支援ボランティア(宮古)で活動した時に感じていた充実感を思い出しました。
- 市民として見て、鶴信さんは、本当に地道がよくやっているとと思う。地域貢献の姿勢が素晴らしく、ますます頑張ってもらいたい。



市民の方からも「日頃の活動を注目しており、頑張してほしい」とエールが送られました。



講師からは「地域にとって大きな力である企業の地域貢献の姿勢は素晴らしく、次の時代の光になるものである」と話され、参加者はその意義を確認しました。